黒埼町ってこんなまち

広大な田園地帯が広がり、春には畑に色とりどりのチューリップが咲き誇るまち「黒埼」。
近年、急速に市街化が進んでいますが、その一方で、歴史を伝える有形無形の文化財が多く残っています。また「新潟ふるさと村」などバラエティに富んだ施設は大勢の人でにぎわっています。
ここでは、写真やデータなどを通して、黒埼町を紹介します。

新潟ふるさと村

特産品・お土産をそろえたバザール館、歴史や文化を学べるアピール館、日本海直送の魚介類が並ぶ鮮魚センターなど、新潟の観光情報や味覚が満載です。

常民文化史料館

江戸時代の民家（旧武田家）をそのまま利用した史料館です。当時の民具や農具などが展示され、そのころの生活をうかがい知ることができます。

黒埼荘

緒立温泉から源泉を引く老人福祉センター「黒埼荘」。ここの湯は特に皮膚病や傷に効能があるといわれています。ゆったり気分で心も体もポッカポカ。

緒立遺跡

昭和27年に１個のつぼ形土器が出土。以来、縄文・弥生・奈良・平安時代のさまざまな遺物が出土しています。土器などは、隣接する常民文化史料館などに展示されています。

ガラス細工

日本有数の生産量を誇る砂時計をはじめ風鈴やスプーンなどさまざまな色とデザインのガラス製品が作られています。

黒埼茶豆

独特の甘味があり香りも良いと評判の枝豆。ビールとの相性は抜群です。最近では出荷範囲も広がり「黒埼茶豆」の名前は全国区です。

木場城公園

木場の棒踊り

戦国時代に上杉景勝が建造したという木場城を再現した、遊びながら歴史を学べる公園です（上）。
棒踊りは、慶長３年上杉家の木場城が廃城になったとき帰農武士が武道を踊りに託したといわれる勇壮な踊りで、町の無形文化財となっています（下）。

焼鮒（ふな）

親鸞聖人が焼いた鮒を池に放つとその鮒が泳ぎ出し、その後、聖人がけさをかけた榎（えのき）が倒れ切り口に親鸞の姿と鮒が現れたという伝説。越後七不思議のひとつです。

山田・善久河川敷公園

信濃川の河川敷に広がる広大な公園です。晴れた日の散策にはもってこいの水と緑が調和した憩いの場所となっています。

黒埼まつり

毎年８月中旬に行われる町を挙げてのお祭り。大民踊流しやかた竿燈みこし、大花火大会などさまざまなイベントが催されます。

～数字で見る黒埼町～

（　）は新潟市

基礎データ

・人口	25,889人	(489,216人)
・世帯数	8,104世帯	(186,839世帯)
・面積	25.97㎢	(205.94㎢)
・財政（平成11年度一般会計当初予算）	67億円	(1,962億円)

※人口・世帯数は「住民基本台帳（平成12年１月末現在）」による。面積はH8.10.1「全国都道府県市区町村別面積調」（建設省国土地理院）による

一体化が進む生活圏

・新潟市への通勤率（15歳以上の就業者が本市へ通勤する割合）	44.7%
・新潟市への通学率（15歳以上の通学者が本市へ通学する割合）	68.0%
・新潟市での購買率（他市町村の消費者が本市で買い物する割合）	59.4%

※通勤率・通学率は「平成７年国勢調査結果」による。購買率はH11・３「新潟市広域商圏動向調査報告書」（県）による